

かほく ワークシート

①「わらアート」とは、どのようなものでしょうか？本文から読み取りましょう。

東日本大震災の〔 〕被害から復旧した水田の〔 〕を使用し、巨大な〔 〕のオブジェを制作展示する。

②オブジェの大きさはどのくらいですか。

高さ〔 〕センチ

③この「空想動物園」の会場はどこですか。

仙台市〔 〕区にある
〔 〕センター

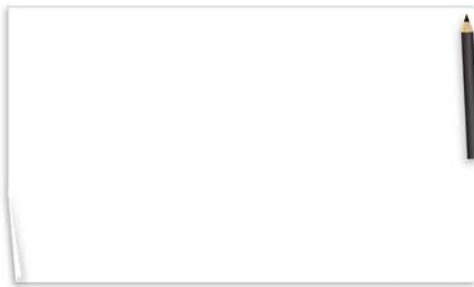
④一般公開はいつからいつまででしょうか。

〔 〕月〔 〕日から
〔 〕月〔 〕日まで

⑤あなたなら、わらでどのような生き物をつくってみたいですか。

作品名 〈 〉

*下のスペースに絵を描いてください



作 者 〈 〉

復旧水田稲わら 恐竜オブジェに 仙台で制作始まる

東日本大震災の津波被害から復旧した水田の稲わらを使用し、巨大な恐竜のオブジェを制作展示する「わらアート」が、仙台市若林区の市農業園芸センターで始まった。27日は骨組みに稲わらを飾り付ける作業の体験会があった。

体験会には市民9人が参加。角材などで作った高さ3メートルの恐竜3体の骨組みに、若林区内の被災農地で栽培された稲わらの束を麻糸で巻き付けた。参加者の一人、宮城野区の会社員高橋繁喜さん(44)は「思ってたよりも柔らかく、香りも良かった」とわらの感触を

恐竜のオブジェの骨組みに稲わらを巻き付ける市民ら

確かめていた。被災地の資源を生かした



わらアートは2年目。昨年12月の市地下鉄東西線開業

記念行事で若林区の沿線に展示されたオブジェが好評だったことから、同区を活動拠点とする団体の代表らでつくる実行委員会が事業を継承した。完成したオブジェは9月17日～11月27日、センターのハーブガーデン脇に展示し、「わらアート空想動物園2016」と題して一般公開する。入場無料。

(2016年8月28日河北新報朝刊)

年 組 名前

(小学3年生以上/朝自習)